

2020年度 一般入試① 問題 (社会)

☞ 問題 次の文章をよく読んで、あとの問いに答えなさい。

右の《写真》をみてください。受験生のみなさん、この服装に見覚えはありませんか。このような、襟の無いジャケットにひざが隠れる丈のスカートを合わせたスーツは、女性にとって式典で着用する「正装」の定番のひとつとなっています。このスーツには、実はある人物の名前がつけられています。その人物とは「ガブリエル・ボヌール・シャネル（《写真》中の後ろにいる女性）」で、フランスの高級ブランド「シャネル」の創業者です。このようなスーツは「シャネルスーツ」とよばれ、1954年にシャネルが発表し、1960年代以降欧米を中心に多くの女性の支持を得て、その後①日本にも広まったものなのです。

さて、自身の名前がついたスーツを世界中に広めたというだけでも、シャネルは十分「偉業」を成し遂げたといえるのですが、彼女の「最大の偉業」は、女性のファッションを革新したことだけにとどまらず、女性の「生き方」や「価値観」まで変えてしまったことにあるといわれています。では、19世紀から②20世紀にかけてのヨーロッパにおける③女性を取り巻く環境と、彼女の生涯を追いながら、その「最大の偉業」についてみていくことにしましょう。

1883年、フランス西部のソーミュールという田舎町にシャネルは生まれますが、11歳の時に母親が亡くなり、父親はシャネルを孤児院に預けて出ていってしまいました。そして、17歳になるころから洋裁店（洋服を作る店）で働き始めます。そのかわり、歌手になるという夢を持ち、貴族たちが通う競馬場で歌を披露していました。

しかしシャネルは、裾が床につくようなドレスや、④果物や⑤金属などの装飾が多く施された⑥色とりどりの帽子を選んで着用する上流階級の婦人たちの姿を競馬場で目にし、そのような服装に対して強烈な反感を抱くようになります。当時の「美しさ」の基準は、「男性が好むものかどうか」で考えられており、女性が脚を人前で見せることは男性にとって「美しくない」行為で、豪華な装飾は男性たちの考える「美しさ」そのものでした。しかし、シャネルの考える「美しさ」の基準は異なっており、自らシンプルな帽子を作って身につけていました。すると、それがシャネルと同じ考えを持っていた女性たちにも注目されるようになり、シャネルの作る帽子には注文が殺到しました。そして25歳の時、ついにパリに帽子店を開くまでになったのです。

その後シャネルはフランス北西部のドーヴィルという⑦リゾート地で新たに店を開き、そこでは叔母や妹とともに、帽子だけではなくシャツやスカートを作って売られるようになりました。そして第一次世界大戦中の1916年、シャネルに大きな転機が訪れます。今までにない素材や形を取り入れながらも、当時の女性たちが求める華やかさをもち合わせた「ジャージードレス」を作ると、それが評判となり、フランス国内だけでなくイギリスや⑧アメリカからも上流階級の女性たちが店に押し寄せて注文をするようになったのです。⑨第一次世界大戦によって国民が総動員された結果、女性たちの生活状況が大きく変化し、ジャージードレスはその変化に合った服装として広く受け入れられました。そして、ジャージードレスはそれまで夫や家庭に縛られ、「守ってもらわなければならない存在」と広く認識されていた女性の生き方を、服を通してくつがえした象徴としても大きく取り上げられるようになります。これこそがシャネルの「最大の偉業」といわれているものです。

シャネルはその後デザイナーとして活躍し、87歳でその生涯を終えました。彼女が存命中に世に広めたものは「ショートカット（女性の短髪）」・「黒色のドレス」・「香水」・「ショルダーバッグ」など、現代の女性たちの生活にごく普通に溶け込んでいるものばかりです。また、彼女が残したブランド「シャネル」は、⑩ユニクロをはじめとした多くのファストファッションブランドが台頭する現在のファッション業界においても、いまだに多くの人にとって特別な存在となっています。

～新しい世紀の兎である私は、新しい世紀を、服装で表現しようとしたのだ。～

シャネルのいう「新しい世紀」である20世紀には、女性の「自由」や「自立」が大きく前進しました。そして、私たちが生きる21世紀は、これまで当たり前のように使われてきた「女性は～」・「男性は～」といった線の引き方自体を考えなおすべき時代なのかもしれません。海城が目指す「新しい紳士」の素質とはまさしく、このような要請に答えられる力なのではないでしょうか。

《写真》 シャネルスーツを着る女優の
ロミー・シュナイダーとシャネル



(ELLE「シャネルが愛したおしゃれ女優。ロミー・シュナイダーに学ぶレディモード」より)

<https://www.elle.com/jp/fashion/icons/g127307/fpi-fashion-icon-romy-schneider-17-0403/>

問1. 下線部①に関連して、日本に西洋服が広まったのは明治時代に入ってからですが、それに大きな役割を果たしたのが、政府が東京の日比谷につくった、《絵》のような社交場でした。この社交場の名称を答えなさい。

《絵》



(光村図書『社会6』より)

問2. 下線部②に関連して、20世紀に日本で起きた次のア～エの出来事を、年代順にならべかえなさい。

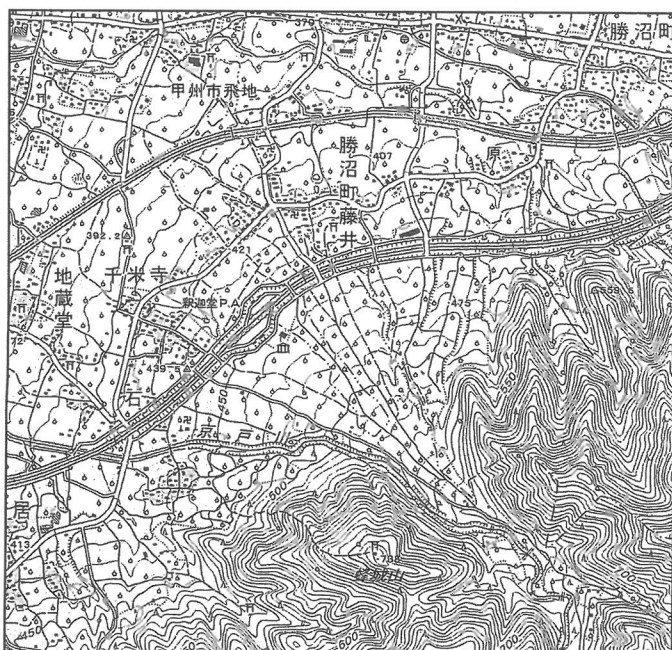
- ア. 大阪で、日本では初めてとなる万国博覧会が開催された。
- イ. 中東での戦争を引き金に、第一次オイルショックが起こった。
- ウ. 日本軍が中国軍を攻撃し、満州を占領した。
- エ. 小村寿太郎が、関税自主権の回復を実現した。

問3. 下線部③について、日本における女性の権利や社会参画に関する次のア～エの文のうち、正しいものをすべて選び、記号で答えなさい。

- ア. 平塚雷鳥たちによる女性の地位向上運動の結果、1925年には25歳以上の男女が選挙権を得た。
- イ. 日本で初の女性国会議員が誕生したのは、1946年の総選挙においてである。
- ウ. 企業が、妊娠や出産を理由に女性労働者に退職などを求めることは、現在の法律では禁じられている。
- エ. 育児休暇を取得することは、女性労働者のみに与えられる権利である。

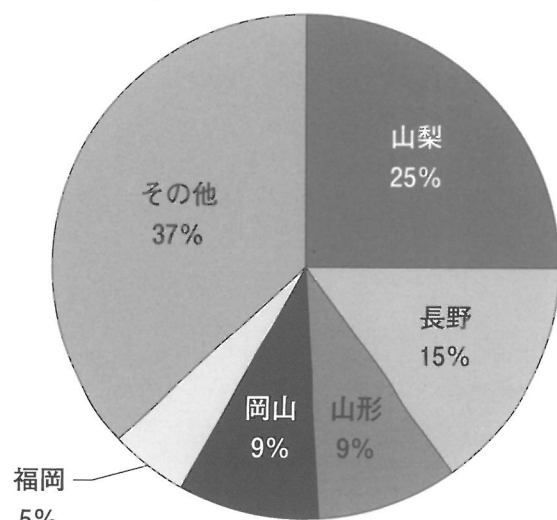
問4. 下線部④に関連して、次の《地図》で示されている地域は、ある果物の有数の産地であり、《グラフ1》はこの地域で多く生産される果物の都道府県別生産割合(2017年)を示しています。では、《地図》上で果樹園が広がっている、山地から平野にかけて広がる地形の名称と、《グラフ1》が示す果物の名称を、それぞれ答えなさい。

《地図》



(国土地理院 1:25000 地形図「石和」)

《グラフ1》

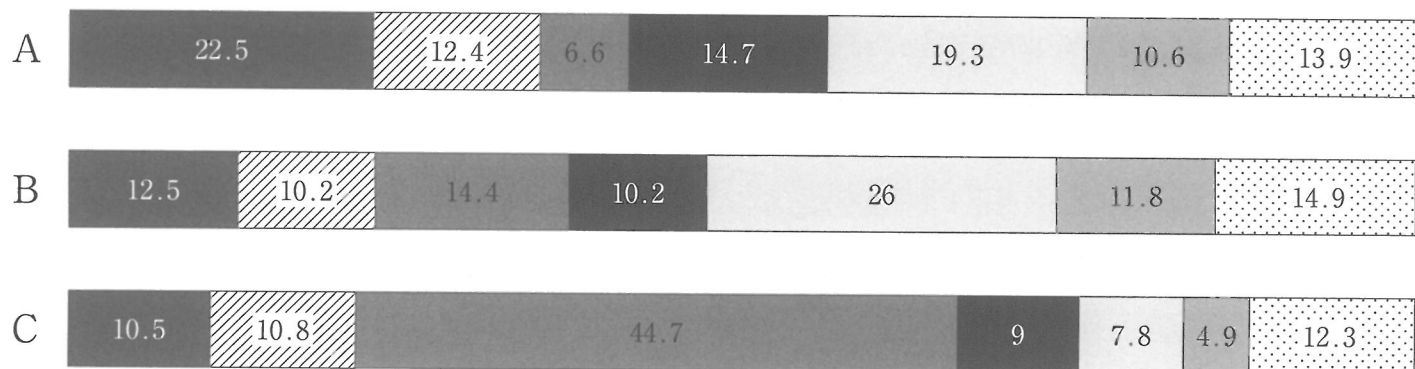


(『平成29年産果樹生産出荷統計』より作成)

問5. 下線部⑤に関連して、以下の《グラフ2》は、日本の三大工業地帯（京浜・中京・阪神）における、金属をはじめとする工業の業種別出荷額割合（2014年）を示したものです。《グラフ2》中のA～Cと工業地帯との組み合わせとして正しいものを、次のア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

《グラフ2》

(単位：%)



■ 金属 ▨ 電気機械 ■ 輸送機械 ■ その他機械 □ 化学 ■ 食料品 ▨ その他

(『平成26年工業統計表』より作成)

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
A	京浜	京浜	中京	中京	阪神	阪神
B	中京	阪神	京浜	阪神	京浜	中京
C	阪神	中京	阪神	京浜	中京	京浜

問6. 下線部⑥に関連して、日本では推古天皇の時代に、帽子（冠）の色によって朝廷に仕える者の位を示す「冠位十二階」という制度が定められました。これについて、次の問いに答えなさい。

- (1) この制度が定められたときの政治をおこなっていた、有力な豪族は誰ですか。その名前を答えなさい。
- (2) この制度が定められた目的を、簡潔に説明しなさい。

問7. 下線部⑦に関連して、2016年12月、統合型リゾート（IR）整備推進法案（通称「カジノ法案」）が成立しました。

以下のア～エの文のうち、この法案に関する議論の内容として正しいものをすべて選び、記号で答えなさい。

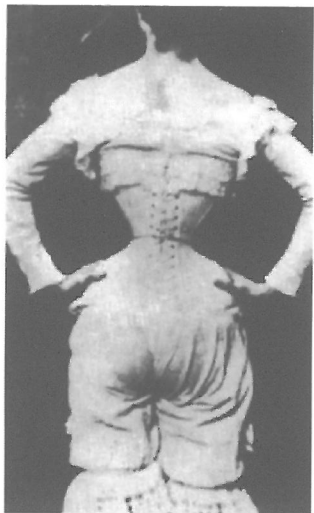
- ア. 賛成派は、国内の治安の改善が予想されると主張している。
- イ. 賛成派は、日本に来る外国人観光客の増加が予想されると主張している。
- ウ. 反対派は、国内の雇用の減少が予想されると主張している。
- エ. 反対派は、ギャンブル依存症患者の増加が予想されると主張している。

問8. 下線部⑧について、アメリカ合衆国に関する次のア～エの文のうち、誤っているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. アメリカ合衆国の首都は、太平洋側の北部に位置するワシントンD.C.である。
- イ. バスケットボールと野球は、いずれもアメリカ合衆国が発祥のスポーツである。
- ウ. 2019年現在、アメリカ国籍を持ち日本に住む人よりも、日本国籍を持ちアメリカ合衆国に住む人の方が多い。
- エ. アメリカ合衆国の国旗には50個の星が描かれているが、これは現在アメリカ合衆国にある州の数を表している。

問9. 下線部⑨について、シャネルが1916年に発表したジャージードレスが上流階級の女性たちに広く受け入れられたのは、女性たちが服装を選ぶ基準が大きく変化したからだといわれています。では、基準の変化の内容およびその変化の理由を、本文や以下の《資料1》～《資料4》から読み取れることをふまえ、220字以内で説明しなさい。そのとき、女性たちの生活状況が第一次世界大戦によってどのように変化したかについてふれること。

《資料1》19世紀末から20世紀初頭にかけてのヨーロッパの女性服



「コルセット」とよばれる、上半身を強く締め付けて体型を細く見せる下着を着用する女性。



上流階級の女性たちが、競馬場や社交場に行くために着用していた服装。ドレスの下にはコルセットを着用している。

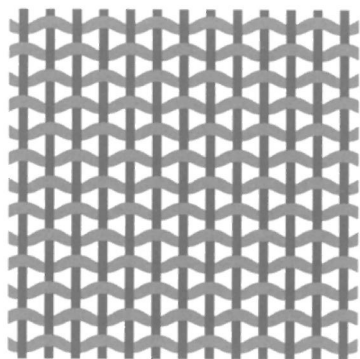
《資料2》ジャージードレスのデザイン



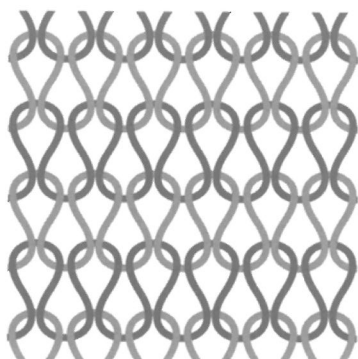
(日置久子『女性の服飾文化史—新しい美と機能性を求めて—』・深井晃子ほか『増補新装カラー版 世界服飾史』より作成)

《資料3》ジャージードレスに使われた生地の特徴

図A



図B



従来、ドレスの生地には図Aのような織り方のものが多く使用されていたが、シャネルが使用したジャージー素材の生地は、従来と同じ素材を用いながらも、図Bのような織り方によって作られていた。

(日置久子『女性の服飾文化史—新しい美と機能性を求めて—』より作成)

《資料4》第一次世界大戦中のイギリスにおける女性労働者数の変化

業種	1914年を100としたときの、1918年11月時点で雇用されていた女性労働者の数
路面電車・バス	2325
ガス・水道・電力	1500
製鉄	1147

(林田敏子『戦う女、戦えない女 第一次世界大戦期のジェンダーとセクシュアリティ』より作成)

問10. 下線部⑩に関連して、低価格商品の大量販売によって利益を得るファストファッションブランドの多くは、人件費の削減のために工場を中国や東南アジアに置いて服を製作しています。一方、シャネルなどの高級ブランドの多くは、客一人ひとりに合わせて服を手作りする「オートクチュール」を手掛けており、現在でもブランドが発祥した都市の比較的狭い範囲で製作しています。シャネルの場合は、パリ市内でオートクチュールの大部分を製作していますが、その理由を以下の《資料5》～《資料7》を参考に、130字以内で説明しなさい。

《資料5》フランス人女優のアナ・ムグラリスがシャネルのオートクチュールを注文したときの感想

シンプルなシルエットで、派手さはないものの刺繍とレース（糸の縫い方で模様を表現した生地）が圧巻！流行に左右されないデザインだから、機会があるごとに着ているのよ。オートクチュールで服を注文するって、とても素敵な体験ね。3回のサイズ合わせではその都度、私のために多くの縫製職人（生地を縫い合わせる職人）たちが、総動員で取りかかってくれたの。とても感動したわ。できたドレスは非のうちどころがない完璧さ。まるで魔法のよう！それしか言いようがないわね。

(VOGUE JAPAN「シャネルのオートクチュールを支えるアトリエの新たな挑戦。」の文章をやさしく書き改めました)
<https://www.vogue.co.jp/fashion/article/2019-11-11-the-new-challenges-of-the-atelier>

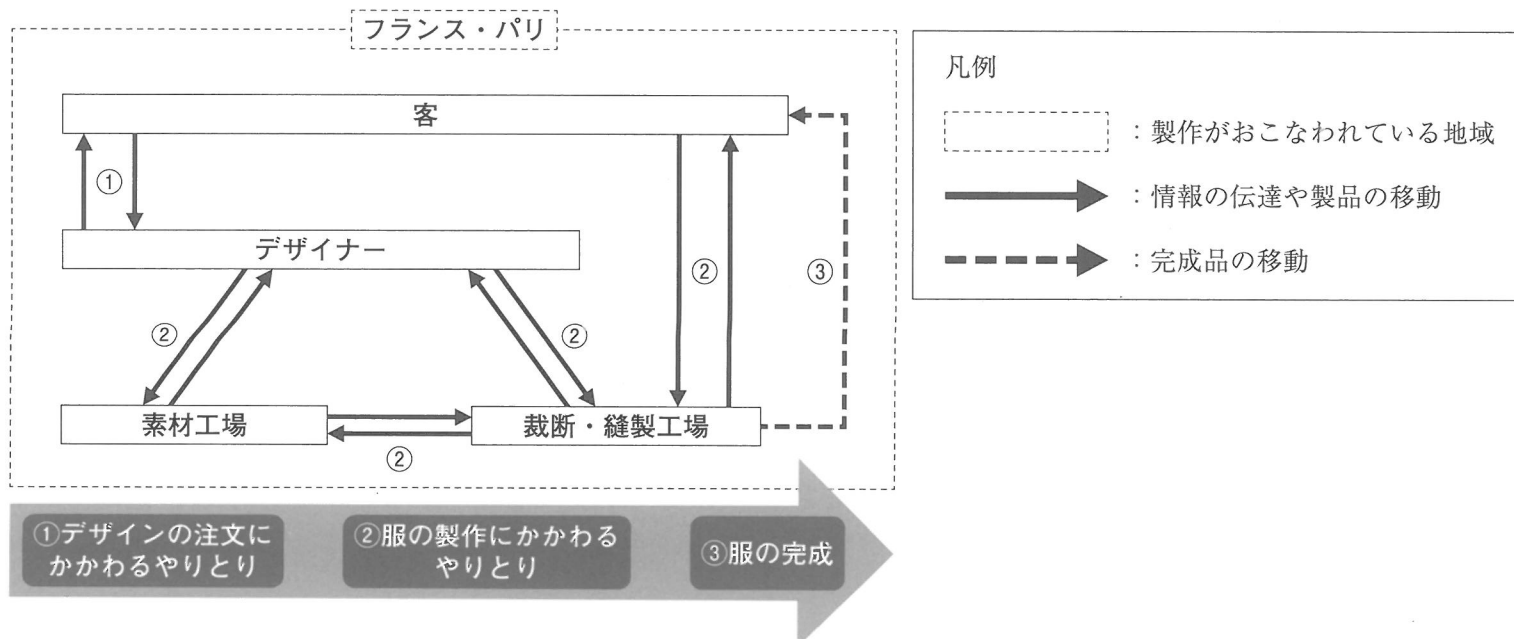
《資料6》シャネルのオートクチュールで作られた服の特色



生地には複数の素材や何色もの糸が用いられており、22万ものスパンコール（金属製やプラスチック製の飾り）は、シャネルと契約を交わしている工場の職人たちが、手作業で縫い付けている。デザイナー、生地職人、裁断職人、縫製職人が、完成途中の製品に何度も手直しを加え、このジャケット1着を製作するためにおよそ1000時間が費やされた。

(VOGUE JAPAN「シャネル、オートクチュールが出来上がるまで—秘密のアトリエへご案内。」より作成)
<https://www.vogue.co.jp/collection/trends/2018-07-11/chanelatelier/cnihub>

《資料7》シャネルのオートクチュールが完成するまでの流れ



(長沢伸也『シャネルの戦略』より作成)

